



多職種連携研修 摂食嚥下研修②

スライド資料

行田市の現状 食支援とは多職種連携とは

行田市医師会会長代理
行田中央総合病院院長
医師 川島 治

誤嚥・窒息から命を守る 食事介助と対策方法

摂食・嚥下障害看護認定看護師
行田中央総合病院
看護師 市川美佳


行田市在宅医療・介護連携推支援センター
助成：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

多職種連携研修
 行田市食支援リーダー認定事業
 (勇美記念財団助成事業)

R7.1.8(水)習熟度テスト



行田市の現状 食支援とは 多職種連携とは

行田市医師会 会長代理
 行田中央総合病院 院長
 川島 治 

食支援とは？

対象 本人、家族から口から食べたいという希望があり、栄養介入が必要な人

- 目的**
- 適切な栄養管理
 - 経口摂取の維持
 - 食を楽しんでもらう
 - リスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行う



対象者の洗い出し

- ① 毎日三食摂れているか
- ② 自分で(または配偶者が)調理できているか
- ③ 食料品を自ら買いに行けているか
- ④ 歯(または口腔)に問題はないか
- ⑤ 一緒にご飯を食べる人はいるか



3

行田市の人口 77,981人(2024.12.1)

老年人口 25,214人
(高齢化率 32.1% 2020年)

摂食嚥下障害の発症率(高齢者)

病院:16.2% 施設19.0% 在宅16.5%

行田市内の摂食嚥下障害高齢者 **4,000人!**

4

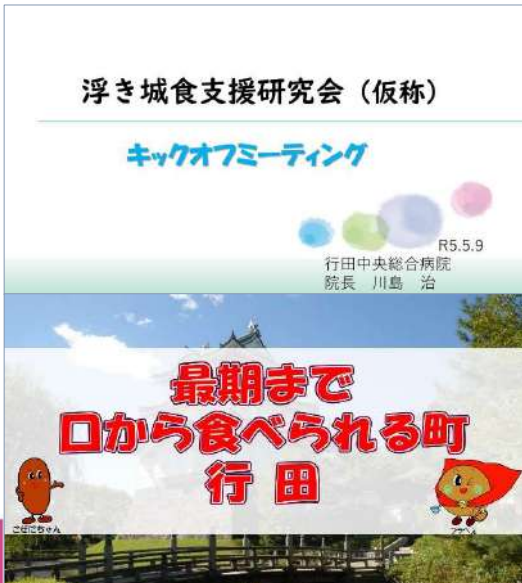
カムカム会（行田市食支援ミーティング） のご紹介



5

18職種44名参加

第1回 カムカム会 キックオフミーティング（2023.5.9） 13職種15人



6



活動目標

① 介護職の食に対する意識向上

見つける

② 食支援職種のネットワーク作りと
知識・技術向上

つなぐ

③ 地域での実践(施設・在宅)
⇒ 『医介連携で町を支える』

結果を出す

7

第2回 カムカム会 (2023.7.12)

* 摂食嚥下障害看護認定看護師
* 薬剤師



8

第3回 カムカム会 (2023.9.13)

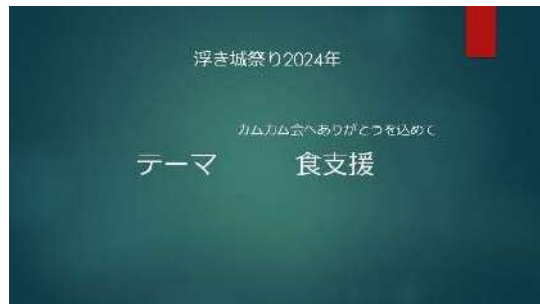
* 歯科医師
* 言語聴覚士



9

第4回 カムカム会 (2023.11.18)

* 理学療法士 2人
* シーティング・浮城まつりご案内



10

第5回 カムカム会 (2024.1.13)

- *理学療法士
- *歯科衛生士
- *シーティング・歯磨き実習



11

第6回 カムカム会 (2024.3.13)

- *作業療法士
- *歯科衛生士



12

第7回 カムカム会 (2024.5.8)

* 医師会長
* 栄養士会長



夜間の逆流を防ぐために



胃の内容物の逆流は、特に寝たわって起きている時に起こりやすい。誤嚥性肺炎を心配している人は、就寝時ベッドの背を少しだけ起こし、身体が水平にならないようにする事がすすめられます。

正常の喉頭(声帯)



前



行田市栄養士会について

発足日 : 2023年11月8日
 参加者 : 介護保険施設や病院・地域で活動する管理栄養士15名
 活動日 : カムカム会の終了後 1時間程度
 目的 : 顔の見える関係を作り、連携していく



第8回 カムカム会 (2024.7.10)

* 介護事業所管理者
* 介護職シェフ




第9回 カムカム会 (2024.9.11)

- * 薬剤師会長
- * 浮き城まつり活動報告



活動報告 (行田浮き城まつり)



3. 薬剤師会の取り組み



15

第10回 カムカム会 (2024.11.13)

- * 歯科医師会長
- * 言語聴覚士



16

市内活動報告

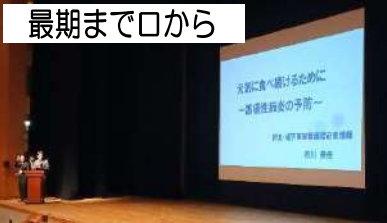


17

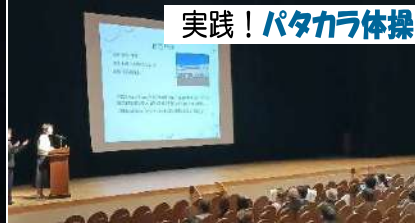
健康フォーラム（2024.3.17）



最期まで口から



実践！パタカラ体操



地域包括支援センター スタッフ会議（2024.3.27）



19

2月より嚥下相談外来が開始します

こんな症状はありませんか？

- ・食欲がない
- ・食事時間が長くなる
- ・お茶等の飲料、汁物、薬を飲むときに以前よりむせ込みがひどくなった
- ・口の中に食べ物が残ったり、口腔ケアの時に入れ歯に食べ物が付いていたりする
- ・体重が減っている



食品環境衛生協会（2024.4.8）



20



家族と一緒に外食を



認知症 グループホーム シーティング訪問指導 (2024.4.11)



21



行田市薬剤師会 (2024.4.19)

食支援における薬剤師の役割

- 内服状況 (残薬等) ・副作用の聴取
- 誤嚥のリスクになる薬剤の指摘
- **ポリファーマシー**管理・内服方法の調整/指導
- 点滴・末梢・高カロリー輸液の適応と調整/指導



22

ケアマネ連絡会 (2024.4.16)




嚥下造影検査→

嚥下内視鏡検査↓





管理栄養士にできること!

栄養状態の確認

食事の相談



調理指導

提案

歯科医師会常会 (2024.10.23)

歯科医師会の先生方をお願いしたいこと

食支援

をキーワードにした連携

行田市医師会
会長代理 川島 治

R6年10月23日(水)

	医師	看護師	歯科医師	歯科衛生士	管理栄養士	ST	PT・OT	ケアマネ	ヘルパー	福祉用具	社会
自身の管理											
栄養指導											
口腔ケア指導 (歯 垢除去、潤滑など)											
口腔ケア											
摂食・嚥下リハビリ											
食事形態の調整											
食事作り											
食事環境の調整											
食事介助											
食事環境調整											

第3回カムカム会 (2023.9.13)
行田協立診療所 松澤先生講演




第5回カムカム会 (2024.1.10)
歯科衛生士講演




第6回カムカム会 (2024.3.13)
歯科衛生士講演




多職種連携研修

最期まで口から食べられる町

～食支援ミーティング 第11回～

日時 令和7年 1月8日(水) 18時00分～

場所 行田市商工センター 403研修室

内容

1. 食支援とは 川島 治 医師
2. 窒息、食事介助 市川 美佳 認定看護師
3. 習熟度テスト(講習料、検定QRコードを配布)

合格者には食支援リーダー証(行田市医師会公認)

12

行田・羽生食品管理衛生協会 広報委員会（2024.7.8）

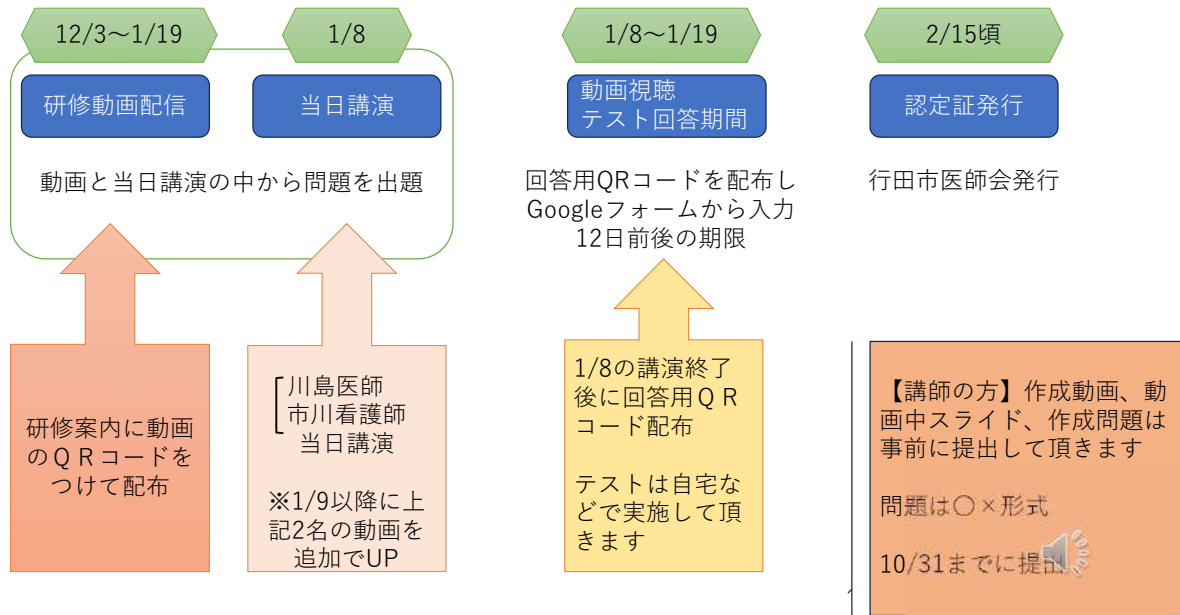


25

行田市民健康まつり（2024.11.10）



第1回 多職種連携研修



チラシ等のQRコードで
医師会ホームページへ誘導
研修動画とテスト案内を掲載

テストはgoogleフォームで実施

テスト

B I U 文

おはようございます

メールアドレス*

有効なメールアドレス

このフォームではメールアドレスが収集されます。 [設定を管理](#)

名前

必須テキスト (既定目録)

資格

必須テキスト (既定目録)

パスワードとしてよいものはどれでしょう？

電話番号

行田市食支援リーダー 認定証

行田 太郎 殿

あなたは行田市医師会認定食支援リーダー試験において頭書の資格に認定されたことを証明します



令和7年2月●日

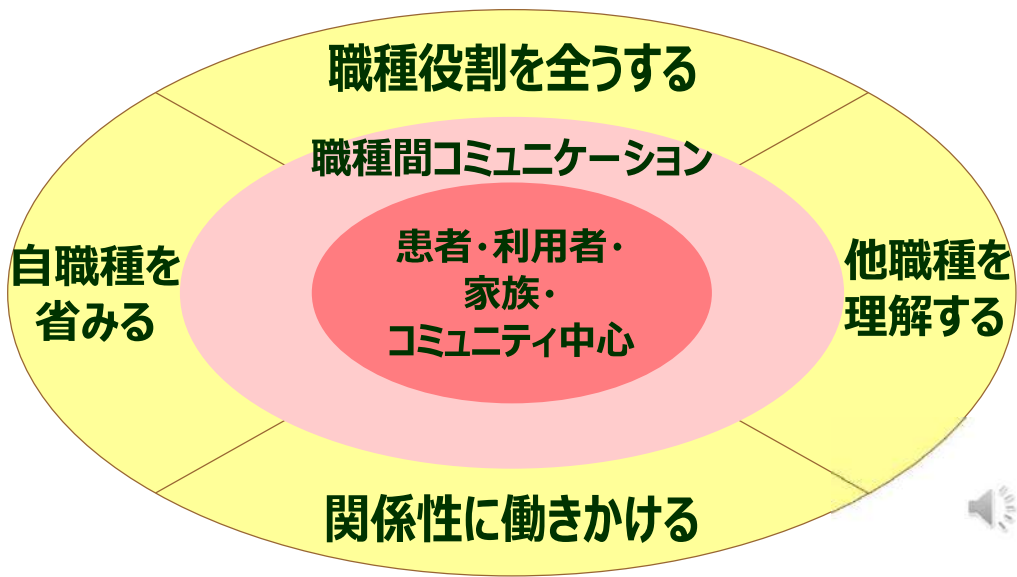
一般社団法人 行田市医師会
会長 河本 英敏



★認定者所属施設は医師会・
行田市ホームページにて市民
に広く広報を予定しています

公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団助成事業

多職種連携で重要なもの





誤嚥・窒息から命を守る 食事介助と対策方法

摂食・嚥下障害看護認定看護師
市川 美佳

本日の内容

1. 食事介助方法

2. 窒息の対応



【誤嚥の原因】

- ① 不良姿勢
- ② 不適切な食物形態
- 不適切な食事介助**
- ④ 口腔の不衛生

こんな食事介助を見かけたことは
ありませんか

誤嚥のリスクを高める食事介助方法
6選

1. 全粥の上におかずをのせて
かき混ぜて介助している



全粥の上に違う食物形態のものを
かき混ぜて食べる



1. ヒトの唾液（アミラーゼ）
がデンプンを分解
2. pHが変化→デンプンの保水性
に影響



* 全粥におかずを混ぜない

2. 枕を背負って食事を食べている



前かがみになると肘が下がる



前かがみになる

- ・頭部が下がる
- 気道が開く
- 気管に入る

- ・肘が下がる
- 上半身が不安定
- 嚥下筋の協調が難しい

* 肘が下がらないようサポート

3. 介助者を見上げて食事を食べている



あごがあがってしまう



- あごが上がる
- ・喉から気道までが一直線
→誤って気管に入る
- ・舌や喉の動きが制限
→飲み込みが難しくなる

*鼻より下から介助・
座って介助

4. すずって食べている



スプーンのホールが口の中に入っていない



すずって食べる

- ・息を吸う動作が伴う
- 気管に入りやすくなる

- ・食べ物と一緒に空気を飲み込む
- 喉での分別を難しくする

*スプーンのホールは
口の中に入れる



5. クラッシュ状になっている



ゼリーをクラッシュ
・細かくぼろける→口の中で
まとまりにくい

*ゼリーは一口サイズ
に切る



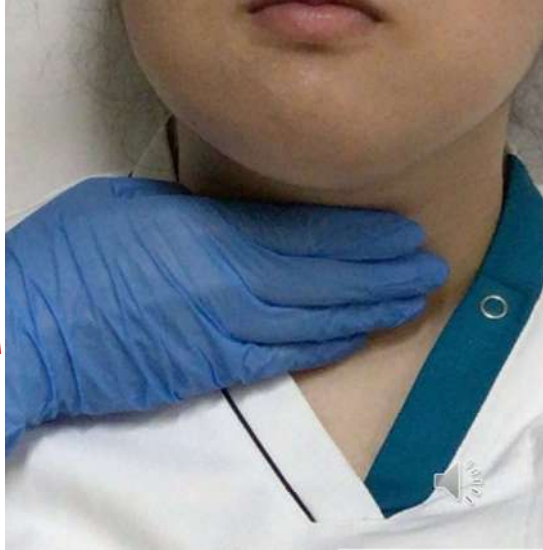
6. 食事を介助するスピードが速い



食事を介助するスピードが速い

食べ物を次から次に
運ぶ
のどと口に大量に
食べ物が残る
→窒息の原因になる


* のどぼとけに手を
あてて、拳上したか
口の中に残って
いないか確かめる



窒息している方がいます
あなたはどうしますか

**チョークサイン
声が出ない
チアノーゼ(唇や皮膚が青紫色になる)
呼吸が弱くなる**

↓




まずは前かがみで咳を促す



意識がある


↓

背部叩打法



↓

**腹部突き上げ法
(ハイムリック法)
注意)乳児や妊婦には禁止)**



意識がない

↓

**心肺蘇生法開始
医療機関へ**

